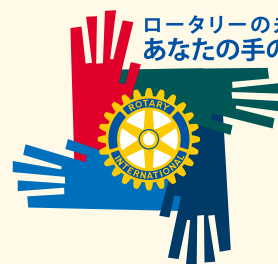


GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



ガバナー月信

March 2010

NO.9

2009-10年度国際ロータリー第2770地区



第2570地区ガバナーと共に上田知事を表敬訪問



ガバナーメッセージ

皆さん 春です 3月です ロータリー年度の結果を出す月です
R I 会長賞にチャレンジする月です

ガバナー 大塚 信郎 (上尾)

3月3日のひな祭りは桃の節句とも言われ、女の子の幸福や健やかな成長を願う行事です。ひな祭りに雛人形を飾ることには、女の子に降りかかる身のけがれや災いを、人形が引き受けてくれるという守り神のような意味が込められています。また、節句が終了したら、早々に雛人形をしまわないと、婚期が遅れるとも言われています。

さて、3月は、識字率向上月間です。識字率向上は1986年以来、国際ロータリーの強調事項です。地域社会で、読み書きを向上させるプロジェクトを支援します。地域の識字率水準が、その地域の生活水準に直結するという観点から、この月間中に読み書き、計算のできない人たちを援助するために、ロータリー地域社会共同体、ローター・アクトクラブ、インター・アクトクラブ、世界社会奉仕、ロータリーボランティア、その他の既存プログラムを通して、識字率向上に取り組んでいます。ユネスコによりますと、世界で9億人以上の人々は、読み書きができません。その3分の2は女性です。国際ロータリーでは、成人、そして子供に向けて、読書のプログラムを企画することや学校に本を寄贈すること、そして地元の図書館を援助することを推奨しております。そして、現在、国際ロータリーは、世界的な識字団体・国際読書教会と協力し合い、世界的な識字推進を目指す社会奉仕プロジェクトを開発中です。

また、1993年、国際ロータリーはローター・アクトの創立25周年を記念して、3月13日を含む1週間を「世界ローター・アクト週間」に指定しております。当地区では、現在9ローター・アクトクラブが活躍しており、4月25日には年次大会が企画されております。そして、今年に入り吉報がも

たらされました。それは、本年2月2日、春日部ロータリー・クラブをスポンサーに、「共栄大学ローター・アクトクラブ創立総会」が開催されたことです。新しい仲間を迎え、ローター・アクトの奉仕活動が益々活発になることを期待しております。

さて、「公式訪問を通じて感じたこと」3回目ですが、今回は、出席率と例会変更について考えてみたいと思います。ロータリアンの3つの義務は、会費を納めること・例会に出席すること・ロータリー地域雑誌を講読することです。手続要覧では、50%以上の例会欠席者には、理事会は、その身分を終結することが出来る。とあります。これは、理由なき欠席者に対しての戒め制約で、決して50%以上例会に出ていれば、いつ休んでもよい、ということではないと思います。入会勧誘のとき、・・曜日の・・時からの1時間、「共にロータリーの人生道場で、切磋琢磨しましょう」と、了解して入会しているのです。しかるべき理由のない欠席は、約束違反になると思います。逆に、クラブが・・曜日の・・時からの例会を、安易に、※※曜日※※時からと例会変更をしていたら、出席率向上には決してなりません。会員は、・・曜日の・・時からの1時間、都合がよいからそのクラブ入会しているのです。クラブ役員は、絶えずこのことを念頭に置き、プログラムの企画に当たらなければなりません。同時に、クラブは通常例会場での例会を、連続して休会しないようにプログラムを組むことが推奨されております。私には、外部卓話が非常に少なく、例会変更が非常に多く感じられました。各クラブの総点検に期待いたします

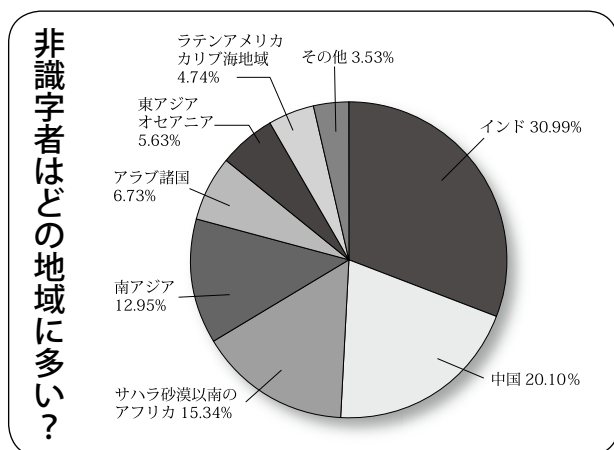


識字率向上月間にちなんで

地区ロータリー情報委員長 篠原 唯史 (浦和北東)

識字率向上は1986年以来、国際ロータリーの強調事項ですが、1997年7月グレン・W・キンロスRI会長年度の理事会で、毎年7月を識字率向上月間と定められました。その後、2006～07年度ウィリアム・B・ボイドRI会長年度より7月から3月へ移行しました。今の日本で識字率の向上は、身近に感じられませんが、ロータリーの友に「識字ということ」、のテーマの特集に次のようにありました。「識字」には「基本的識字」「機能的識字」「コンピューター識字」の三つの定義がある。識字と貧困は密接な関連があり「識字」とは、単に読み書きが出来るということではなくて、社会経済ならびに政治的な発展を最も反映していることである。低所得者が多い国は、非識字者が多いことからわかるように、貧困と非識字は密接に関連している。さらに、ポリオの常在国と非識字も関連している。非識字者はどの地域に多いかは円グラフの通り。また、世界の非識字者の3分の2は、女性で母親が非識字であると、その子どももまた非識字になる可能性が大きくなる。よって、母親の教育が大事である。また、先進国でも毎日の生活に必要な読み書き能力のない者がアメリカで2,700万人(75%が無職)「機能的非識字者」が問題になっている。(ロータリーの友2009年3月P5~P9より抜粋)

RI会長の強調事項は過去数年、水問題、保健及び飢餓救済、識字率の向上など発展途上国における人道的問題の解決となっています。ロータリーは職業奉仕の団体から、国際的な(日本には存在しないような)弱者救済団体へと大きく舵がきられたと言っているのではないかと思います。ジョン・ケニーRI会長もこの分野における奉仕活動に専念するよう、ロータリアンに呼びかけています。



目次

ガバナーメッセージ	1	職業奉仕研修会報告	三國 明	8
識字率向上月間にちなんで 篠原 唯史	2	第9回ロータリー情報ニュース		8
ロータリー財団未来の夢計画研修と国際協議会参加報告 井橋 吉一	3	ロータリー財団寄付者一覧・米山記念奨学会寄付者一覧 新会員のご紹介		9
IM報告		新会員のご紹介・第8回職業倫理委員会情報・文庫通信・訂正		10
第5グループIM 星野 賢	4	1月の会員数及び出席報告		11
第2グループIM 吉野 弘芳	5	『今こそ私たちの出番です』		12
第8グループIM 青木 伸翁	5			
第4グループIM 小宮 勝男	6			
第9グループIM 加藤 修三	7			



報 告

ロータリー財団未来の夢計画研修と国際協議会参加報告

平成 22 年 1 月 17 日～ 23 日

R I 第 2770 地区ガバナー・エレクト 井橋 吉一（越谷）



1 月 16 日午後 1 時に研修が行われるカリフォルニア州サンディエゴのホテルに到着しました。サンディエゴは港に軍用の港とリゾートの港が隣り合わせになっていて、軍港には太平洋戦争に活躍した航空母艦、ミッドウェイが停泊しており、今ではミュージアムとして利用されています。リゾートの港には豪華なクルーザーが沢山停泊しておりサンディエゴは素晴らしい景勝の地です。

研修は 1 月 17、18 日の 2 日間が財団未来の夢計画パイロット地区の研修と 18 日の夕刻から 23 日の国際協議会（ガバナー・エレクト研修）に参加しました。財団未来の夢計画研修は R I の要請により当地区の財団部門委員長岩渕均直前ガバナーに参加頂きました。内容はロータリー財団の補助金、地区ないしクラブの資格認定、計画立案等について 7 つのセッションの時間配分で講演とグループディスカッションで行われました。また研修後の夕刻は V T T（職業研修チーム）、グローバル補助金活用の水、識字率等の重点分野に対する支援事業のネットワークづくり（相手国探し）です。

そして 18 日から始まった国際協議会は開会本会議から閉会本会議まで 12 回の本会議と 9 回のグループディスカッションが行われました。また夜は世界 534 地区から参加したガバナー・エレクト、R I 役員とその配偶者の方たちとの交流会が毎日開催されて、300 人近くの方と名刺交換をしました。財団未来の夢計画研修と国際協議会の 7 日間研修は内容の凝縮されたハードなスケジュールでした。そして R I のテーマについて、また R I 会長エレクトの方針等については公式訪問、諸会議等で報告いたします。最後になりましたが当地区より参加しておりました財団管理委員田中作次 P D G、R I 研修リーダー、地区研修リーダー中村靖治 P D G、財団部門委員長岩渕均 P D G の方々には大変お世話になり有り難うございました。





I M 報 告

第5グループ

2010年1月16日（土）／上尾市文化センター大ホール

テーマ

「ロータリーも変革の時、未来に向けて」

第5グループ ガバナー補佐 星野 賢（上尾北）

本年度第5グループではIMを実施するにあたって①各クラブの活動を第5グループの会員が理解し、自クラブの明日の活動に役立てる。②グループ内の会員同士の親睦を深める。さらに③一般公開をして、本年は世界同時不況と自殺者3万人を越える社会状況の中で「心の安らぐ内容」の講演と参加された市民に第5グループ9クラブの活動を紹介して身近な存在として心に留めて頂ける様な企画をしました。

第1部 式典（会員） 点鐘

12時30分～14時 上尾市文化センター小ホール

式典の中で全9RCの活動報告と各RCの特長は別刷りで参加者全員に配布し、理解を深める資料とした。さらに上尾地区（上尾東RC）、桶川・北本地区（桶川RC）、鴻巣地区（鴻巣水曜RC）の各地域の代表による活動の報告を各10分ずつお願いした。

第2部 一般公開 紹介「ロータリー活動の今」と講演「いまを生きる力」五木寛之先生

14時10分～16時30分 上尾市文化センター大ホール

一般市民約800名、ロータリアン200名の聴衆の中で、国際ロータリーの課題とポリオの「最後の砦」をDVDビデオ映像で放映し、9クラブの活動はパワーポイント画像で上尾RC大塚会員、上尾西RC大貫会員が紹介した。

そして「作家五木寛之さん」のご講演「いまを生きる力」と題しての1時間半は聴衆に暖かく安らぐ気持ちを与えるお話で、講演会の聴衆から感謝とRC活動の理解が深まったとの感想もいただくことができた。

またポリオ撲滅の募金も行い、期待された成果をあげることができた。

第3部 9クラブ懇親会

17時～18時30分 センター内 研修室

ホストクラブの上尾北RCよりの挨拶、懇話会会長津田パストガバナーより挨拶と感想を頂いた後、ガバナー補佐より地区役員紹介、9クラブの会長幹事、IM代表者に対して感謝の言葉の後大懇親会となり小畑次期ガバナー補佐の挨拶もいただき盛会裏にお開きとなった。





第2グループ

2010年1月23日（土）／浦和ロイヤルパインズホテル

テーマ

[Talk & Learn Together] —集いて学ぶ—

第2グループ ガバナー補佐 吉野 弘芳（浦和西）



国際ロータリー第2770地区・第2グループの Intercity Meeting は、グループ内6クラブ、224名の登録会員を基に、大塚ガバナーを初め半田・久世・津田・田中・関口・岩渕各パストガバナー・三國ガバナーノミニー・3ガバナー補佐・地区米山記念奨学部門（遊馬・邨田・深野各委員長）・米山記念奨学生・カウンセラー、更に、清水さいたま市長の皆様をお迎えして、2010年1月23日（土）、浦和ロイヤルパインズホテルに於いて開催。

恒例の式典の後、

昨今のIMは兎角「フォーラム」という内容が失われ、年中行事化・義務的消化の風潮を否めないような内容で推移している感が伺えることからIMの本来の目的を取り戻すべく、3つの目的を定め、地区米山記念奨学部門のご協力を仰ぎ、本年度地区米山記念奨学生20数名と各クラブ混成のテーブルで、テーブル・リーダーを中心に「テーブル・ディスカッション」（バズセッション）方法を採用。

但し、「討論」は男性的であり、「会話」は女性的である（オルコット・アメリカ哲学者）という観点から、討論会等と肩肘を張らず、米山奨学生を交えて、楽しく会話し、そして、そこから何かを学んで頂きたいと考えた。

参加者全員の発言・意見交換を実施。後、選出されたテーブル・リーダーによる発表を実施。津田地区研修リーダーからご講演を頂く。

それに先立ち久世パスト・ガバナー基調講演「米山記念奨学会の現状とこれから」。梨元勝氏「噂の伝わり方」の特別講演開催。

IM終了後、「新年賀詞交歓会」にて半田パスト・ガバナーの乾杯。ジャズバンドとボーカルを耳にしながら、歓談。そして、解散。



第8グループ

2010年1月30日（土）／ベルヴィギヤザホール

テーマ

「不況の今こそ、職業奉仕」

第8グループ ガバナー補佐 青木 伸翁（越谷東）

講師 第2680地区パストガバナー 安平 和彦様（姫路RC）

テーマを「不況の今こそ、職業奉仕」と題し、講師を第2680地区PDGの安平和彦様にお越し、基調講演をいただきました。安平PDGは、副題に「経営哲学としてのロータリー」として、ロータリーは倫理運動であるが、ただの倫理運動ではない、「職業人の経営哲学・経営の帝王学」であり、誤解を恐れずに言うなら、「お金の儲け方を教えてくれる職業倫理運動」であるとのお話から始まり、ロータリーがどのように思想的に発展していったかと



いう歴史、ロータリーの奉仕哲学と東洋哲理との相似性について、プロジェクターを使いながら、解かり易くお話頂きました。そして最後に、

縁あってロータリーの世界に入った
一生もののロータリー
昼飯会（晩飯会）ではさびしい
感性的親睦でもさびしい
知ることの楽しさ 自ら学ぶことの楽しさ

そして、なによりも「ロータリー哲学」（利己と利他の調和の哲学＝奉仕の理想）を実践することは、必ずや、他人を助け、やがては巡りめぐって自らの人生を明るく照らし、いずれは自己の職業を隆々と栄えさせるのだという確信と、ロータリアンとしての誇りを持って、ロータリー人生を楽しみましょう。と締めくくられました。



第4グループ

2010年2月4日（木）／大宮ラフォーレ清水園

テーマ

「我がクラブの誇れるもの」
「賢者は歴史に学ぶ」・我が郷土（大宮・岩槻）と太田道灌

第4グループ ガバナー補佐 小宮 勝男（岩槻）



「都市連合会」及び新年合同懇親会の報告

わが第4グループのIMは、奇しくも2月4日の立春という佳き日に、快晴のもと、大宮ラフォーレ清水園にて開催されました。

第1部は式典に続き、大塚ガバナーの心のこもった来賓挨拶があり、地区研修リーダーの津田パストガバナーによる基調講演となりました。講演は15分という短い時間でしたが、流石に70歳台半ばにして現役社長としてエクセレント企業を指揮しておられる経営者の講演には迫力がありました。

次に「我がクラブの誇れるもの」というテーマで各クラブの会長からの発表がありました。どのクラブも論旨がしっかりとっていて5分の時間内にピタリと収めました。クラブを牽引する会長さんの懸命さは頼もしい限りです。

第2部はがらりと趣向を変えて、郷土の歴史講演会です。

テーマは「賢者は歴史に学ぶ」・我が郷土（大宮・岩槻）と太田道灌、で講師は太田道灌の18代太田資暁（おおたすけあき）氏と埼玉郷土史界の重鎮、大村 進先生。卓話のように各人30分で順に独自の講演を戴きました。





自クラブの拠って立つ地域の歴史を識り、愛着や誇りを感じたら・・・何か新しい視野や発想が閃くかも知れません。

第3部は新年合同懇親会です。さいたま市長（代理）他、来賓のご挨拶のあと、私から荒井直前ガバナー補佐に感謝の花束を贈呈いたしました。

いよいよ熱気は盛り上がり、森田パストガバナーの発声で高らかに乾杯して文字通りの「春の宴」となりました。出し物は小桜舞子の歌謡ショーと駒井佐江子率いるフラダンス。第2部講演者のお二人も祝宴に参加して宴席は大いに賑わい将に宴たけなわの内に「手に手つないで」の合唱という大団円となりました。実行委員会、会長幹事会、その他関係各位の皆様々に心から御礼申し上げます。

第9グループ

2010年2月6日（土）／草加アコスホール

テーマ

「ザ・ファイナルインチ」

第9グループ ガバナー補佐 加藤 修三（草加イブニング）

2009～2010年国際ロータリー第2770地区第9グループのインターシティミーティングは地区内5番目として草加市長木下博信様・八潮市市長多田重美様を始め多くの関係来賓者をお招きし開催することが出来ました。ガバナー大塚信郎様のご挨拶を頂き、またパストガバナー・井橋ガバナーノミニー・近隣ガバナー補佐のご臨席を賜り、熱き友情に心より感謝申し上げます。

今回はサブテーマを「ザ・ファイナルインチ」とし、第9グループ内のロータリアンが一同に会して親睦を深め、草加・八潮両都市間における情報交換を行うとともに、ロータリアンが実施する社会奉仕活動をより広めるために開催させて頂きました。

1985年に開始されたポリオ・プラス・プログラムは、民間の組織によって今までに取り組まれた人道的活動の中でも、最大規模のものとされています。草加・八潮両都市民にポリオ撲滅の意識を少しでも強く持つていただくために、ペットボトルのキャップを集めていただき開催日に会場に持ち寄っていただきました。

第一部に音楽と健康をテーマとして河内紀恵先生の講話、そしてピアノに渡辺亜希さんを加えての童謡の歌唱は会場の皆さんがしみりとし、子供のころの昔をなつかしむ感動をされたものと確信します。

第二部には認識を強調するためにポリオ撲滅を目指した講演会を開催致しました。講師には第2770地区ガバナーノミニーであります（春日部西ロータリークラブ所属）三國明様にお願いし、プロジェクターを駆使したご講演はご来場の方に「ザ・ファイナルインチ」をより良く理解を頂けた事と推察します。

講演会終了後の講評で、地区研修リーダーの津田健三パストガバナーにお褒めの言葉をいただき、実行委員並びにホストクラブの会員一同大変安心をした次第です。

懇親会もなごやかなうちにJAZZ演奏、草加よさこいと進み、ビンゴゲームの後は「手に手つないで」を全員で歌い、無事に全プログラムを終了することができました。





報 告

職業奉仕研修会報告

平成 22 年 1 月 29 日開催

2011-2012 年度ガバナーノミニー 三國 明 (春日部西)



さる 1 月 29 日ラフレさいたまにて、第 2640 地区パストガバナー成川守彦先生をお招きして、盛大に開催されました。ロータリアン、パストガバナー、地区役員など総勢二百名以上のご出席のもと熱気にあふれた研修会になりました。午後二時大塚ガバナーの点鐘、ソング唱和、ロータリーの綱領の唱和、来賓ご挨拶、清水職奉委員長による講師紹介に続いて、二時半より成川先生の講演が始まりました。題して「ロータリーの魅力と職業奉仕について」であります。内容は、一部、二部、三部から構成され、一部では日本の先人に学ぶ人生哲学を披露されました。安岡正篤、東井義雄などの教えが説かれました。「私は一本のローソクです。燃え尽きてしま

うまでに何か一ついいことがしたい、人の心に喜びの灯をともしてから死にたい」、「自分を創るのは、利己のためではない。世のため人のために自分を役立たせるためである。」第二部ではロータリーの魅力について触れ、一つは友達の輪が広がること、二つは人さまの役に立つ喜び、三つは自分の人間性の成長であると語られました。ロータリアン一人ひとりの奉仕で、どれだけ多くの人が助けられ、生きる力を与えられたか、心をこめた奉仕は、たとえどんなに小さくとも人さまに幸せを与えるものである、と諭されました。第三部では職業奉仕の発展の歴史を説明されました。

ポールハリスの親睦、互恵から始まったロータリー運動は瞬く間に世界中に広がったのですが、ロータリー哲学の発展と完成の過程で貢献した、シェルドン、ドナルド・カーター、コリンズ、パーキンス、ガイ・ガンティカー、ウィリアム・メニアについて触れました。

そして職業倫理訓、決議 23-34、ロータリーの綱領、四つのテストの精神や登場してきた経緯について詳述されました。最後に職業奉仕の考え方は古来日本にも偉大な手本があることを、二宮尊徳や坂村貞民の教えや近江商人の「三方よし」の哲学を紹介して締めくくられました。会場は二百人以上の人であふれ、その熱気の中で先生の講演もすばらしいものになりました。ここにロータリアンの職業奉仕にたいする関心の高さを改めて確認できましたことをご報告いたします。以上。



連 載

第 9 回 ロータリー情報ニュース

「ロータリーの基礎知識」浦和 RC より発刊される

ロータリー情報委員長 篠原 唯史 (浦和北東)

平成 22 年 1 月 10 日、浦和ロータリークラブ宮下光芳会長年度に「ロータリーの基礎知識」が発刊されましたのでご紹介いたします。宮下会長は、発刊にあたって次のようにご挨拶しております。

岩渕直前ガバナー及び佀情報委員長が発起人となり、当クラブ（浦和）情報委員会のメンバーが編集委員会を構成し、更には、市内の近隣クラブの有志の協力を得て、本「基礎知識」の制作に当たりました。内容は、手続き要覧に記載されているものの内、クラブ運営に有用と思われる項目を中心とし、これに加えて、直前ガバナーが書かれた「ポリオ撲滅」などガバナー月信の記事等も取り入れ、読者の関心を呼ぶように工夫しました。

「理事会と総会との関係」あるいは「クラブ細則の改正について」などは、編集委員会の解釈が前面に出ていますので、今後の読者などのご意見等を待たねばならないところもありますが、十分検討した上での見解なので、一定の評価はなされるものと考えます。

この「基礎知識」が当クラブを中心に、情報委員会でのセミナーなどに使用され、ロータリーの正しい知識の習得に、更には、ロータリーライフを楽しむことに些かなりとも貢献できれば幸いに存じます。皆様からの暖かい、ご質問・ご意見等を賜り、より充実した「基礎知識」を完成していく所存です。（以上発刊に当たって）

私は、この「ロータリーの基礎知識」は新会員さんにとりまして「ロータリーマニュアル」となりうるものと確信しております。是非ご活用されてはいかがでしょうか。

お問い合わせは浦和 RC 事務局 048-824-2570 まで。



ロータリー財団

大口寄付 (19,725\$)
ベネファクター (5)

大塚 信郎
(上尾)
平成 22 年 1 月 27 日

大口寄付 (12,000\$)


西袋 秀雄
(戸田)
平成 21 年 8 月 21 日

M・P・H・F (7)


柏原 正昭
(三郷)
平成 22 年 2 月 2 日

M・P・H・F (5)


布施 雅章
(八潮)
平成 22 年 1 月 22 日

M・P・H・F (5)


長澤 力
(浦和南)
平成 22 年 1 月 26 日

M・P・H・F (4)


荒井 伸夫
(大宮西)
平成 22 年 1 月 26 日

M・P・H・F (4)


桃木 俊郎
(越谷)
平成 21 年 12 月 24 日

M・P・H・F (3)


森 仁三
(越谷)
平成 22 年 1 月 28 日

M・P・H・F (3)


中野 清
(上尾北)
平成 21 年 11 月 27 日

M・P・H・F (3)


大國 博
(上尾北)
平成 21 年 11 月 27 日

M・P・H・F (3)


豊田 愛祥
(浦和北東)
平成 21 年 12 月 25 日

M・P・H・F (3)


岡庭 武利
(三郷)
平成 22 年 2 月 2 日

M・P・H・F (3)


塚原 隆
(浦和南)
平成 22 年 1 月 26 日

M・P・H・F (2)


柴田 悟
(三郷)
平成 22 年 2 月 2 日

M・P・H・F (1)


福田 剛紀
(浦和北)
平成 22 年 1 月 21 日

M・P・H・F (1)


森 裕
(浦和北東)
平成 21 年 12 月 25 日

M・P・H・F (1)


植野 正裕
(戸田)
平成 21 年 8 月 21 日

M・P・H・F (1)


宇田川 初夫
(三郷)
平成 22 年 2 月 2 日

P・H・F


斎藤 博重
(上尾)
平成 21 年 12 月 17 日

P・H・F


川又 徹朗
(浦和北)
平成 22 年 1 月 21 日

P・H・F


江原 武男
(越谷)
平成 21 年 12 月 24 日

P・H・F


河野 富美男
(久喜菖蒲)
平成 22 年 2 月 5 日

ポリオ・プラス


桶川ロータリークラブ
(桶川)
平成 22 年 2 月 5 日

米山記念奨学会

米山功労者 (M-9)


吉川 公夫
(上尾)
平成 22 年 1 月 18 日

米山功労者 (M-7)


大橋 誠
(さいたま新都心)
平成 22 年 2 月 2 日

米山功労者 (M-5)


森 仁三
(越谷)
平成 22 年 1 月 18 日

米山功労者 (M-4)


塚原 隆
(浦和南)
平成 22 年 1 月 26 日

米山功労者 (M-4)


松岡 晋
(浦和東)
平成 22 年 1 月 26 日

米山功労者 (M-4)


桃木 俊郎
(越谷)
平成 21 年 12 月 25 日

米山功労者 (M-3)


植野 正裕
(戸田)
平成 21 年 8 月 21 日

米山功労者 (M-3)


榎本 君子
(戸田)
平成 21 年 8 月 21 日

米山功労者 (M-2)


沼澤 明夫
(八潮)
平成 22 年 1 月 27 日

米山功労者 (M-2)


黒田 芳伸
(さいたま新都)
平成 22 年 2 月 2 日

米山功労者


河野 富美男
(久喜菖蒲)
平成 22 年 2 月 5 日

新会員の紹介


山川 仁
(草加)
平成 21 年 10 月 7 日入会

相川 幸子
(春日部南)
中華料理 光苑
平成 21 年 12 月 24 日入会

橋本 昇
(岩槻東)
(有)新和倉庫
平成 22 年 1 月 1 日入会



新会員の紹介



五島 和男
(草加)
(有)フレックス
平成22年1月6日入会



工藤 啓介
(浦和ダイヤモンド)
工藤啓介法律事務所
平成22年1月6日入会



古挽 詔二
(川口北東)
(株)東運輸
平成22年1月12日入会



森田 隆
(越谷)
アルカディア設計(有)
平成22年1月12日入会



伊藤 正文
(越谷)
(株)サンエム
平成22年1月12日入会



奥隅 慎
(浦和北)
(有)芳健
平成22年1月13日入会



三木 勉
(越谷東)
勢力建設株式会社
平成22年1月21日入会



佐々木 暁
(大宮西)
大宮公証センター
平成22年2月8日入会

◆訃報◆

謹んでお悔やみ申し上げます。



富岡 俊郎会員 (鳩ヶ谷)
平成22年1月23日逝去
享年76才

★お詫びと訂正★

2月号のロータリーにおきまして、誤りがありました。訂正してお詫び申し上げます。

■公式訪問レポート 草加南RC(7頁)

誤 会長 田中 和郎 → 正 会長 久保 邦計

■第8回ロータリー情報ニュース(8頁 本文23行目)

誤 1989~99年 正 1998~99年

■クラブ会長交代のお知らせ(10頁)

岩槻中央RCのクラブ名を記載漏れました。

連載

第8回 職業倫理委員会情報

「利己と利他との調和点を見出す為の人生哲学」

職業倫理委員長 清水 裕次 (岩槻東)

企業は、儲けなくては存続できません。今100年に一度の不況と言われている現在、奇麗事ばかりいってられない。この厳しい時代をなんとかして生き抜いていかなければ成りません。企業の根底には儲け、利潤があります。しかし、ロータリーはそれにも拘らず「企業の根底に奉仕の理想を置く」と言っています。ロータリーは企業が儲けることを決して否定するものではありません。

例を挙げればある商人が1万円で仕入れた品物を、それを100万円で販売したとすれば、その商人はぼろ儲けしている。そしてその商人は大変幸福になります。ところが買わされたお客さんは限りなく不幸になります。ロータリーはこの種の儲けを儲けとは言わない。これは暴利である。ロータリアンは、商人として、企業経営者として適正・合理的な値段で商品を製造販売して幸せになる。お客も適正な値段で買って幸せになる。このようにロータリアンも、ロータリアンからものを買ったお客さんも双方が幸せになる。その調和点がどこかに必ずあるはずだ。この調和を求めていくのがロータリーの職業奉仕だと考えてみても理解できるのではないだろうか。

決議23-34(1923年セントルイスの国際大会の34号議案として採択された決議をいう)の第1項に「ロータリーとは、利己と利他との調和を目的とする人生の哲学である」と言われており、これは「ロータリアンの企業の根底に奉仕の理想を置く」とは同じ考え方だと思います。日本では「職業奉仕」を奉仕をとって「私達の職業とは、何か、どうあるべきか、」と考えたのが理解しやすいのかと思います。職業を通じて社会に奉仕することは私達の職業に内在する倫理的な要素であるからだと思います。



「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

地区大会記念講演を中心に！

- ◎「ロータリーはこれでいいの」 齊藤 和 2009 14p (宇城RC記念講演)
- ◎「夢とロータリー」 司 葉子 (パネリスト) 2009 7p (D.2530 地区大会)
- ◎「2580・今・おかげさまの心で夢をかたちに」
牛来峯聡 他 2009 7p (D.2580 地区大会)
- ◎「国際ロータリー第2580地区発、地球の温暖化防止」
島井弘之・中上英俊 2009 8p (D.2580 地区大会)
- ◎「夢をかたちに一心豊かに」 山田俊和 2009 10p (D.2520 地区大会)
- ◎「青少年よ、『重力』と遊ぶ」 伴 義孝 2005 12p (全日本RYLA大会報告書)
- ◎「子どもにあたたかい心を育む一子育てと親：学習と教育の違い」
仁志田博司 [2009] 3p (D.2540 地区大会)
- ◎「ロータリーの基本に返ろう」
島村吉三久 (コーディネーター) 2009 12p (D.2830 地区大会)

[左記申込先：ロータリー文庫 (コピー/ PDF)]

ロータリー文庫

〒105-0011
東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=午前10時~午後5時
休館=土・日・祝祭日

2009～'10年度 1月の会員数及び出席報告

		2009年 7月1日現在	当月末会員数	当月	当月	増減	当月	当月	通算
	クラブ名	内女性	内女性	入会	退会		出席率	順位	順位
第一グループ	浦 和	102	100		1	-2	92.65	13	4
	浦 和 東	73	79	2	1	6	86.85	37	24
	浦 和 南	37	35			-2	92.47	15	14
	浦 和 中	41	40	2		-1	92.14	16	34
	浦和ダイヤメント	21	22	10	1	1	95.50	8	1
第1グループ計		274	276	14	2	1	91.92		
第二グループ	浦 和 北	73	73	4	1		94.61	11	8
	さいたま中央	50	49	2		-1	91.84	17	42
	浦 和 西	13	14	2		1	82.14	54	56
	浦 和 北 東	38	40	1		2	86.32	39	53
	さいたま新都心	38	40		1	2	98.72	2	18
第2グループ計		221	225	10	1	1	87.64		
第三グループ	大 宮	57	55		1	-2	81.58	57	51
	大 宮 南	34	33	3		-1	81.81	56	39
	大 宮 中 央	50	50		3		77.04	68	72
	大 宮 南 東	9	7	2		-2	78.10	66	60
	大 宮 シ テ ィ	59	56	6		-3	83.04	50	55
第3グループ計		227	219	12	0	4	78.97		
第四グループ	大 宮 西	43	44			1	77.42	67	59
	岩 槻	35	33	4		-2	53.79	81	81
	大 宮 北	26	24	1	1	-2	86.50	38	71
	大 宮 南 西	14	13	1		-1	79.48	63	62
	大 宮 東	37	37		2		75.00	69	30
第五グループ	岩 槻 東	32	30	1	1	-2	86.87	36	66
	大 宮 北 東	19	18	2	2	-1	79.63	62	47
	岩 槻 中 央	18	16			-2	87.49	31	12
第4グループ計		224	215	9	2	4	78.27		
第六グループ	上 尾	46	46	1			95.65	5	17
	鴻 巣	34	33		1	-1	94.80	10	37
	桶 川	29	27			-2	82.00	55	46
	上 尾 西	45	43		1	-2	95.58	6	10
	北 本	6	8			2	89.38	25	70
第七グループ	上 尾 東	23	22			-1	73.87	71	75
	上 尾 北	28	28				93.00	12	5
	鴻 巣 水 曜	32	32	3			85.82	40	29
	桶川イフニング	17	17	2			92.64	14	50
第5グループ計		260	256	6	0	2	89.19		
第八グループ	春 日 部	43	42			-1	90.09	21	20
	杉 戸	25	25	2			82.66	52	28
	春 日 部 西	36	37	4		1	85.10	43	45
	庄 和	21	21				90.00	22	57
	春 日 部 南	27	28	6		1	65.47	79	76
第九グループ	春日部イフニング	23	24	1		1	87.50	30	25
	杉 戸 中 央	24	25			1	74.67	70	77
第6グループ計		199	202	13	0	3	82.21		

		2009年 7月1日現在	当月末会員数	当月	当月	増減	当月	当月	通算
	クラブ名	内女性	内女性	入会	退会		出席率	順位	順位
第七グループ	幸 手	44	46	2		2	88.40	28	54
	蓮 田	29	32			3	80.47	61	61
	久 喜 菖 蒲	55	56	2		1	86.95	35	33
	栗 橋	13	15			2	72.71	73	38
	幸 手 中 央	25	25	1			84.00	48	40
第7グループ計		166	174	5	0	8	82.51		
第八グループ	越 谷	78	80	2		2	89.37	26	3
	越 谷 南	42	46	2		4	78.29	65	44
	越 谷 北	52	51		1	-1	87.30	32	35
	越 谷 東	46	47	6	1	1	95.11	9	9
	越 谷 中	16	16	1			73.55	72	79
第8グループ計		234	240	9	3	6	84.72		
第九グループ	草 加	19	21	2	1	2	85.00	44	69
	八 潮	46	44	4	3	-2	84.61	46	27
	草 加 南	13	13	1			69.23	77	65
	八 潮 イフニング	26	25	1		-1	85.00	44	32
	草 加 イフニング	11	12			1	81.25	59	48
第十グループ	八 潮 中 央	15	17	2		2	89.06	27	2
	草 加 中 央	25	23			-2	86.96	34	68
	八 潮 シ テ ィ	12	11			-1	82.30	53	74
	草 加 2 1	9	8	3		-1	84.37	47	19
第9グループ計		176	174	11	3	3	83.09		
第十一グループ	吉 川	29	28	1		-1	90.74	18	26
	三 郷	28	28	2			85.71	41	31
	三 郷 中 央	24	23			-1	65.75	78	64
	三郷ウェンステア	20	22	2		2	88.10	29	15
	松 伏	12	15	3		3	95.55	7	7
第10グループ計		113	116	8	0	3	85.17		
第十二グループ	川 口	79	79	11			70.98	76	78
	鳩 ケ 谷	30	29	1	1	-1	89.42	24	41
	川 口 東	20	20	2			82.91	51	43
	川口・鳩ヶ谷武南	28	28	2			83.53	49	73
	川 口 モーニング	29	31	1		2	96.67	3	16
第十三グループ	川 口 南	31	31	4			59.37	80	80
	鳩 ケ 谷 シ テ ィ	15	15	1	1		90.29	20	22
第11グループ計		232	233	22	1	1	81.88		
第十四グループ	戸 田	52	53	6		1	81.33	58	36
	蕨	30	30	1			89.73	23	23
	川 口 西	25	26	3		1	81.16	60	58
	戸 田 西	32	30	3		-2	90.73	19	21
	川 口 北	33	37	2		4	98.90	1	6
第十五グループ	川 口 北 東	29	28	3	1	-1	79.33	64	49
	川 口 中 央	15	13	1		-2	96.15	4	11
	川 口 む さ し 野	15	18	1	1	3	87.04	33	13
	戸 田 イブニング	20	22			2	85.71	41	63
第12グループ計		251	257	20	1	6	87.79		
地区合計		2,577	2,587	139	13	18	84.45		

『今こそ私たちの出番です』

このページでは、当地区の様々な各クラブの奉仕活動をご紹介します。ロータリークラブだけでなく、インターアクトクラブやローターアクトクラブからの記事もお待ちしております。



ガバナーの思い出の一枚

日韓親善会議にて

● 青少年交換委員会より 地区青少年交換委員長 江口 正史（川口南）

来日生の広島・京都旅行（21/12/4～12/6）



昨年のクリスマス会（12/19）
太巻き祭り寿司の講習会にて



コーネリア嬢（母国：リトアニア）
と太巻き寿司

来日生のスキー・ツアー・菅平高原（22/2/19～2/21）

